

議員提出議案第 4 号

陸上自衛隊 V-22 オスプレイ飛来において市民の安全への配慮を求める意見書

上記の議案を提出する。

令和4年12月20日

提出者 立川市議会議員 頭山太郎
山本みちよ
山本洋輔
大沢純一
若木早苗
伊藤大輔

理由

地方自治法（昭和22年法律第67号）第112条の規定による。

陸上自衛隊V-22 オスプレイ飛来において市民の安全への配慮を求める意見書

令和4年11月1日及び2日に北関東防衛局から、立川飛行場周辺8市に対し、陸上自衛隊輸送航空隊の技能習得並びに首都圏における大規模災害発生時の人員・物資の緊急輸送への備えを目的として、陸上自衛隊V-22 オスプレイが令和5年1月以降、立川駐屯地内立川飛行場へ飛来する旨、説明がありました。

陸上自衛隊による大規模災害発生時等有事の際の人員・物資の輸送並びに各地への救助活動等の重要性は大変理解できるものであります。

他方、飛行訓練は振動や騒音などが発生され、また米軍機ではありますが、ハード・クラッチ・エンゲージメント等に起因する事故等などの報告もされています。機体の安全性に係る技術的問題は存在しないとされていますが、周辺住民の不安の解消には至っておりません。よって、下記の項目を求めます。

- 1 周辺住民の安全・安心・生活環境に配慮すること。
- 2 地元自治体へ情報提供を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和4年12月20日

立川市議会
議長 木原 宏